

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年8月9日

【四半期会計期間】 第110期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 愛三工業株式会社

【英訳名】 AISAN INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 小林 信雄

【本店の所在の場所】 愛知県大府市共和町一丁目1番地の1

【電話番号】 大府(0562)47 1131(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 石田 智也

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区八重洲二丁目7番2号

【電話番号】 東京(03)3271 5321

【事務連絡者氏名】 東京事務所長 塚崎 成彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第109期 第1四半期連結 累計期間	第110期 第1四半期連結 累計期間	第109期
会計期間	自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月30日	自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日
売上高 (百万円)	37,274	30,942	150,849
経常利益又は経常損失() (百万円)	1,925	197	5,269
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (百万円)	1,305	20	325
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	1,313	1,393	2,141
純資産額 (百万円)	62,043	58,934	57,867
総資産額 (百万円)	124,171	127,560	125,541
1株当たり四半期(当期) 純利益又は1株当たり 四半期純損失() (円)	23.53	0.36	5.86
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			5.86
自己資本比率 (%)	48.65	44.95	44.95

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 第109期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。第110期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

3 第109期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した「事業等のリスク」はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におきましては、景気は、海外では新興国を中心に総じて堅調に推移しました。しかしながら日本におきましては、東日本大震災の影響により、厳しい状況が続きました。

自動車業界におきましても、サプライチェーンに大きな打撃を受けたことにより、日系メーカーは大幅な減産を余儀なくされました。

このようななか、当第1四半期連結累計期間の業績としましては、売上高は309億4千2百万円(前年同期比17.0%減)となり、営業損失は2億9千万円(前年同期は営業利益20億6千1百万円)、経常損失は1億9千7百万円(前年同期は経常利益19億2千5百万円)となりました。また、四半期純損失は2千万円(前年同期は四半期純利益13億5百万円)となりました。

セグメントの業績(地域別)は次のとおりであります。

[日本]

売上高は188億7千5百万円(前年同期比22.5%減)となり、営業損失は14億8千8百万円(前年同期は営業利益3億5千6百万円)となりました。

[アジア]

売上高は88億2千4百万円(前年同期比3.8%減)となり、営業利益は11億円(前年同期比31.4%減)となりました。

[北米]

売上高は47億7千1百万円(前年同期比0.1%増)となり、営業利益は1億3千9百万円(前年同期比25.8%増)となりました。

[欧州]

売上高は20億5千6百万円(前年同期比5.4%減)となり、営業損失は8千5百万円(前年同期は営業損失3千2百万円)となりました。

(2) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は17億4千8百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	190,000,000
計	190,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,509,096	55,509,096	東京証券取引所 名古屋証券取引所 各市場第一部	単元株式数100株
計	55,509,096	55,509,096		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成23年8月1日以降当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		55,509,096		7,488		9,490

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないため、直前の基準日である平成23年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 21,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,458,900	554,589	
単元未満株式	普通株式 28,796		
発行済株式総数	55,509,096		
総株主の議決権		554,589	

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 愛三工業株式会社	愛知県大府市共和町一丁目 1番地の1	21,400		21,400	0.03
計		21,400		21,400	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,719	22,059
受取手形及び売掛金	22,990	23,760
有価証券	948	799
商品及び製品	3,372	3,629
仕掛品	4,133	3,928
原材料及び貯蔵品	4,993	5,926
繰延税金資産	6,812	7,373
未収還付法人税等	90	85
その他	3,737	3,517
貸倒引当金	129	134
流動資産合計	69,670	70,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,291	14,292
機械装置及び運搬具(純額)	21,775	21,404
土地	5,417	5,458
建設仮勘定	2,070	3,415
その他(純額)	1,888	2,002
有形固定資産合計	45,443	46,573
無形固定資産		
のれん	330	288
その他	1,002	963
無形固定資産合計	1,332	1,251
投資その他の資産		
投資有価証券	2,271	2,371
繰延税金資産	3,438	3,524
その他	3,433	2,943
貸倒引当金	49	49
投資その他の資産合計	9,094	8,789
固定資産合計	55,871	56,614
資産合計	125,541	127,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,830	16,630
短期借入金	3,412	3,693
1年内返済予定の長期借入金	3,279	3,202
未払費用	6,394	7,904
未払法人税等	967	610
製品保証引当金	12,108	11,909
役員賞与引当金	121	29
その他	6,306	6,150
流動負債合計	49,421	50,130
固定負債		
長期借入金	8,787	8,779
退職給付引当金	8,180	8,474
役員退職慰労引当金	308	240
その他	976	1,000
固定負債合計	18,252	18,494
負債合計	67,673	68,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,488	7,488
資本剰余金	9,490	9,490
利益剰余金	44,640	44,287
自己株式	20	21
株主資本合計	61,599	61,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522	578
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	5,693	4,480
その他の包括利益累計額合計	5,171	3,902
新株予約権	278	282
少数株主持分	1,162	1,307
純資産合計	57,867	58,934
負債純資産合計	125,541	127,560

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	37,274	30,942
売上原価	32,342	28,632
売上総利益	4,931	2,309
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	368	306
給料及び手当	1,057	1,117
製品保証引当金繰入額	39	47
役員賞与引当金繰入額	36	25
退職給付費用	84	87
役員退職慰労引当金繰入額	18	17
その他	1,266	996
販売費及び一般管理費合計	2,869	2,599
営業利益又は営業損失()	2,061	290
営業外収益		
受取利息	22	27
受取配当金	21	25
為替差益	-	54
雑収入	81	64
営業外収益合計	125	171
営業外費用		
支払利息	48	49
為替差損	183	-
雑損失	29	28
営業外費用合計	261	78
経常利益又は経常損失()	1,925	197
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	-
新株予約権戻入益	25	15
特別利益合計	26	15
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26	-
特別損失合計	26	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,926	181
法人税、住民税及び事業税	256	390
法人税等調整額	265	630
法人税等合計	521	239
少数株主損益調整前四半期純利益	1,404	58
少数株主利益	98	78
四半期純利益又は四半期純損失()	1,305	20

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,404	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	55
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	68	1,278
その他の包括利益合計	91	1,335
四半期包括利益	1,313	1,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193	1,249
少数株主に係る四半期包括利益	119	144

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	
減価償却費	2,055百万円	減価償却費	1,959百万円
のれんの償却額	59	のれんの償却額	41

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月22日 定時株主総会	普通株式	443	8	平成22年3月31日	平成22年6月23日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月15日 定時株主総会	普通株式	332	6	平成23年3月31日	平成23年6月16日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,514	8,896	4,740	2,123	37,274		37,274
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,852	275	27	50	3,206	3,206	
計	24,367	9,171	4,767	2,173	40,480	3,206	37,274
セグメント利益又は損失()	356	1,604	110	32	2,039	22	2,061

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額22百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	北米	欧州			
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	15,930	8,286	4,747	1,976	30,942		30,942
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,944	537	23	79	3,585	3,585	
計	18,875	8,824	4,771	2,056	34,527	3,585	30,942
セグメント利益又は損失()	1,488	1,100	139	85	334	43	290

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額43百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は四半期純損失および算定上の基礎

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()(円)	23.53	0.36
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(百万円)	1,305	20
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失()(百万円)	1,305	20
普通株式の期中平均株式数(千株)	55,488	55,487

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年8月2日

愛三工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 井 夏 樹

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 浅 井 明 紀 子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている愛三工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、愛三工業株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。